

民報 ゆうばり

いよいよ総選挙、比例は日本共産党で!

夕張問題で奮闘のはたやまさんを国会へ!

「長く続く自民・公明政権が、国政と権力を私物化したことで、国民に冷

たい風が時折吹く寒い一日でしたが、訴えを聞いて、わざわざ玄関から出てきて拍手をしてくれた男性や、手を振ってくれる通行人、窓からじっと耳を傾けている人もいました。

衆議院選挙公示まで、残り9日間となった10日の日曜日、くまがい桂子市議と後援会は、北と南に分かれて、市内58カ所で街頭宣伝をおこないました。冷たい風が時折吹く寒い一日でしたが、訴えを聞いて、わざわざ玄関から出てきて拍手をしてくれた男性や、手を振ってくれる通行人、窓からじっと耳を傾けている人もいました。



2016年2月国会で20分間夕張問題を質問



2021年1月 厚谷市長と懇談

夕張市民の声を国会へ はたやま和也前衆議

た。たく、富裕層にあたりかいた政治が続いてきまの政治を終わりにしま

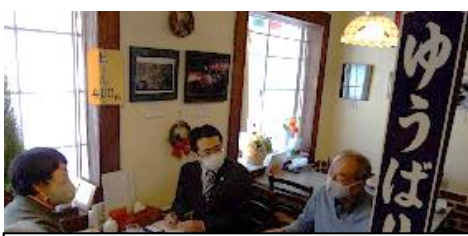


2021年1月 閉鎖中のマウントレースイ前で

しよう」との訴えに、共感をよせる市民みなさんのたくさんの応援がありました。森友・加計・桜を見る会「真相究明行わない」岸田新内閣が発足しましたが、国政の私物化・権力の私物化が問題となった「森友疑惑」「加計疑惑」「桜を見る会疑惑」などの真相究明は行わないことを公言しました。

選挙区は野党統一候補へ 比例は日本共産党へ!
また、新内閣閣僚人事でも、「安倍カラー」が鮮明に表れています。安倍・菅政権の継承そのものではないでしょうか。
加えて、コロナ対策では、非正規労働者の多くが仕事を失いました。しかし、一部の富裕

層や巨大企業などは、コロナ危機のなか、資産を増やしています。「中小企業に厳しく、大企業は守る自民党政治とサヨナラし、31日投票の総選挙では、選挙区は、野党統一候補へ、比例は、日本共産党で、自民党のめざす戦争する国づくりとは正反対の、国民の命を暮らしを大切にする政治をめざし、市民と野党が力をあわせて、政権交代を実現し



2021年1月 Cafe & Sweets 和さんで

さらに、「北海道比例区予定候補のはたやま和也前衆議は、2016年2月の予算員会で、当時の高市総務大臣を相手に、夕張問題を20分にわたり質問しました。



2021年1月 じじばば食堂さんで

落選後も、夕張に足を運んで、市民の声を聴き、道や国に届けてくれたはたやま和也前衆議。はたやまさんを再び、国会へ押し上げるために、比例は『日本共産党』と書いてくれる人をたくさん増やしていただきたい。」と訴えていました。



2021年2月 空知振興局で

【はたやまさん(はたやまさんのブログ)のごく一部をご紹介します。】
【はたやまさん(はたやまさん)の経営破たん、雇用や地域経済への不安が募る夕張市。希望退職に、マルニチロ工場の閉鎖も重なり、このまま見

**はたやまさんの
ブログ「はたろぐ」
読んでみませんか!**
①「はたろぐ」(はたや
まさんのブログ名)で、
インターネット検索
②下図の検索欄に
「夕張」と入れて検索
するだけで、夕張関連
の記事全文がお読み
いただけます。

【はたろぐ21年2月3日】
『工場撤退や経営破
綻に襲われている夕張
市での雇用とくらし、
地域経済を守るうと、
空知総合振興局や国
の出先機関へ熊谷桂子
夕張市議とともにまわ
りました。』



2021年2月国の出先:(道)労働局・経産局・農政事務所で



2021年6月清水沢での街頭演説



くずさんの 夕張歴史散歩(167)

石炭博物館模擬坑の火災(番外編②)

この番外編については、筆者は炭鉱労働では全くの門外漢であり、書物や先人からの聞き学びの範囲の知識であり、当然に不正確や誤りなどは十分考えられます。かつての炭鉱労働者の生の声やご意見・訂正を、「民報ゆうばり」に寄せていただければ幸いです。

切羽支柱の方法

切羽の維持には、当初丸太材を使用しているの留枠が組まれます。その現場の状況よってどの枠ぐみが適切であるか、まさに経験と職人技で決められます。

*1. 支柱夫は「さし鋸」(のこぎり)と「まさかり」を使って見事にくみ上げたと言います。*2. 切羽や坑道維持に使用される坑木は、かつては大量に必要とされ、御料林、国有地・未開地の払い下げを受け伐採します。地元には「土場」と呼ばれる貯木場があり、そこから順次坑内に運ばれていきます。*3.

*1. 「この場面では、この枠ぐみを」ということは、かつて炭鉱労働者の方々に、説明をお願いしたいと思えます。

*2. 労働者は道具を大切にしますが、支柱夫の場合、自分で鋸の目立ては常に行い、研ぎ上げたまさかりの刃は、髭がそげると言い放ったと言います。

*3. 現在の石炭歴史村の場所は、かつて高松の「土場」であり、崖の上から貨車に積んだ坑木を転げ落としたものです。後に天竜グラウンドになる。また、錦橋の下は、二畝の土場でした。(写真)



岩淵友「国会かけある記」
参議院議員

比例は日本共産党

岸田内閣が発足し、所信表明が行われました。同じ自公政権でも、政権が変われば生まれ変わるんでも思っているのでしょうか。これまでの安倍・菅政治の反省が一言もない演説にあきれてしまいました。コロナの感染を広げ、医療崩壊を招いたのは誰の責任なのか、新しい資本主義などというけれど、格差と貧困を広げてきたのはいったい誰なのか。

「福島復興なくして、日本の再生なし」と言います。ところが、復興大臣が初めて他の大臣と兼任になりました。しかも東京電力福島第一原発事故の「げ」の字もないのです。大震災も原発事故ももう終わりということなのか。こんな無責任な政権にこれ以上、命もくらしも任せておくわけにはいきません。

「共産党が『政権協力は閣内でも閣外でもいい。政治が変わればいいんだ』言っていることに感動した」と声をかけられました。政権協力の合意が、これまで地域で頑張ってきたみなさんの力になっていると感じます。「総裁選挙見ていてうんざりした。『変える、変える』っていうけれど、だったらなんでこれまでやってこなかったのさ。コロナでくらしが大変になっている。頑張っている」といってほしい。政治を変えたいという願いに何としても答えたい。

いよいよ総選挙です。日本共産党も一緒に政権交代に挑戦する初めての選挙。ワクワクしています。「比例は日本共産党」と広げに広げて、今度こそはたやま和也さんを国会へ。私も全力で頑張ります。